

報道機関 各位

【再依頼】【記者会見】

県内初！肺がん手術もダビンチで ～呼吸器外科とロボット支援手術推進センターの取り組み～

概要

島根大学医学部附属病院では2012年11月からロボット支援手術を開始し、泌尿器科や消化器外科、婦人科の手術を中心に779件(2021年9月までの実績)の手術を実施してまいりましたが、肺がんについては、保険診療を認定された医療施設は全国的にも少なく、島根県には肺がんをロボット手術で行うことのできる病院はありませんでした。

本年8月、島根大学医学部は外科学講座の新しいユニットとして、呼吸器外科学を開設し、附属病院では、ロボット手術の経験を積んだ新しい診療メンバーで呼吸器外科をスタートいたしました。

一方で、肺がんのロボット手術の保険診療の認定基準が満たされたため、9月に承認申請を終え、肺がんのロボット手術が可能になり、お二人の患者さんに手術を実施しました。

ロボット手術を受けたいずれの患者さんも痛みの訴えはなく、順調に経過し、お元気に退院されました。今後、当科では、年に50-80件程の肺がんを中心としたロボット手術を見込んでおります。

今回は、ダビンチを利用した「呼吸器外科におけるロボット支援手術」の詳細と新体制となった「ロボット支援手術推進センター」の取り組みについて、ご説明させていただきます。

ロボット支援手術

ロボット支援手術は外科医が遠隔操作でロボットの腕を動かし胸腔鏡(3Dカメラ)の手術をする最先端の手術方法です。ロボットの腕(手術道具、カメラ)は細かく、正確な動きができます。皮膚の傷は小さく、8mmの傷が4か所と30mm程の傷が1か所です。患者さんの体への負担や痛みは少なく、安全性および確実性の高い手術ができ、将来的にも治療成績の向上が期待されています。



出席者

島根大学医学部附属病院長

島根大学医学部附属病院 ロボット支援手術推進センター長

島根大学医学部外科学講座 呼吸器外科学 教授

椎名 浩昭

和田 耕一郎(泌尿器科)

山根 正修

日時・場所等

日時: 令和3年11月12日(金) 11:00~12:00

場所: 島根大学医学部本部棟5階 大会議室

本件の連絡先:

総務課企画調査係 Tel:0853-20-2018

【添付資料: あり(枚) なし】